

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 新居浜市立金子小学校 (※正式名称を記載)

種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>

中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校

教員養成大学  専修学校、各種学校

特別支援学校

その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒792-0026

愛媛県新居浜市久保田町一丁目3番57号

E-mail kane-ad@esnet.ed.jp

Website https://kaneko-e.esnet.ed.jp

幼児児童生徒数 男子 345 名 女子 296 名 合計 641 名

幼児・児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「豊かな関わりの中で人とつながる魅力ある学校づくり 未来につなげよう！金子愛顔の町プロジェクト～かかわる・つながる・ひろがる～」を活動テーマとして、「笑顔いっぱい毎日をもっと楽しみたい。そして、周りの人や町の人の笑顔も増やしたい。」という願い（課題意識）のもと、それを解決するため、探究的な学習の充実を図っている。

具体的には、「コミュニケーション能力」「課題解決能力」「多様性の尊重」の育成を目指し、①地域の伝統文化に関わる学習、②防災に関わる学習、③キャリア教育に関わる学習、④食育に関わる学習を行った。

### ① 地域の伝統文化に関わる学習

金子校区には地域の人々によって守られ、受け継がれてきた古くからの伝統や文化が多く残っている。6月には2年生が町探検を行い、地域の良さや秘密を見付け、新聞やペープサートなどを用いて友達に発表した。3年生は地域の文化・昔話などについて調べ、7月には地域に伝わる「小女郎狸踊り」を講師

の方々に教えていただき、楽しく踊ることでふるさとへの思いを深めた。

## ② 防災に関わる学習

5年生は、「笑顔を守る 安全安心の町に」をテーマに、校区の災害による危険性を知り、被害を軽減するための安全な行動について考え、地域の人と共に課題解決に向けて取り組むことをねらいとした活動を行った。ゲストティーチャーを招いて地域の災害について知り、実際に自分たちで町歩きをして地域の危険箇所や被害を軽減するための工夫を見付けた。そこで学んだことをまとめた防災マップを作り、自分たちができることを保護者と4年生に発表した。

## ③ キャリア教育に関わる学習

6年生は「『未来につなげよう！金子笑顔の町』～生き方のカギを見つけよう～」をテーマに、人生の先輩の生き方や思いから、「生き方のカギ」を見付ける活動を行った。将来の夢について、職業のジャンルごとにグループに分かれ、その職業に就いた人々の生き方や考え方を調べたり、キャリアアドバイザーのお話を聞いたりした。学んだことをまとめ、中学生や保護者に向けて発表した。

## ④ 福祉に関わる学習

4年生は、地域に住む高齢者や障がい者の日常生活について、デイサービス訪問、障がい者体験を通し、理解を深めた。また、車いすバスケットボールのチームである、「愛媛エンジェルス」の練習に参加し、障がい者と交流を図ったり、その活躍について知ることができた。パソコンソフトを活用した発表資料の作成や、ガイドヘルパーの利用時間拡大や、手すり・点字ブロックの設置を市役所の地域福祉課に呼び掛けた。



① の写真 (キャプション)



② の写真 (キャプション)



③ の写真 (キャプション)



④ の写真 (キャプション)

## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

#### ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述) )	

#### エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

「手と心で読む」(光村図書 小学校国語4年 大島健甫著)  
「点字メニューにちょうせん」(東京書籍)  
DVD教材「つるにのって～とも子の冒険～」

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

生活科・総合的な学習の時間を核として取り組んでいる。特に、総合的な学習の時間の年間指導計画では、3年生で、地域の伝統文化・文化遺産、4年生で、福祉教育、5年生で防災教育、6年生で人権・平和に関する学習を位置付けている。探究的な学習の質を高めるために、単元計画の見直し、実施状況の評価を行い、指導と評価の一体化を図るようにしている。また、各教科で身に付けた知識を生かして、生活科・総合的な学習の時間で他者と協働しながら、課題を解決したり、新たな価値を創造したりすることができるように学習展開の工夫を行っている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

校内研究組織に、ESD推進部会（各学年1～2名）を設置し、全教職員で取り組むための組織体制を整えた。また、ESD推進部会を定期的に関き、各学年の取組について見直し、ESDを核とするカリキュラム編成を行った。ESD推進部会の話し合いを基に校内研修において、全教職員で共通理解を図った。また、各学年に分かれて、具体的な年間指導計画や実践内容の充実に向けての話し合いを行う機会を設けた。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

校内研修で、実践の途中経過を振り返り、計画案の訂正や変更を行い、年度後半に、実践の全体の振り返りを行った。また、研究会を開き、実践を市内の学校関係者が参観し、意見を交換した。成果は、地域とのつながりを生かし、活動に取り組むことで、児童と地域とのつながりができ、持続する関係性へのきっかけ作りができてきていることである。課題は、地域との交流では、連絡調整が困難な時があることである。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

防災教育では、町歩きで発見した地域の危険個所を、校区の地図に集約し、参観日で保護者に向けて発表した。そこでの活動の振り返りを行い、その後、地域の人へ向けた発表資料の改善を行い、地域への啓発につなげられるようにした。また、防災教育の取組について、市内の学校関係者を対象に研究会を開催した。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

主に3年生の地域の伝統文化・文化遺産に関する学習では、一宮神社・小女郎ためき保存会、4年生の福祉教育では、高齢者施設・福祉センター、5年生の防災教育では、消防署・地域交流センター、6年生のキャリア教育では、高等専門学校と連携を取り、探究的な学習の質の向上につながる活動になるよう取り組んでいる。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

ESDフェスティバルで市内4校の実践発表を児童・生徒と共に公聴することで、活動内容、成果と課題を共有し、交流校のよさを認め合い、共に学び合う機会を得ることができた。また、市内の全小中学校のESDの活動を書面で報告し合っている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

今年度は、ESDと情報活用能力の育成を関連付けた取組を重点的に行った。本校の、人やものとの「つながり」を重視したESDの取組に関連付けて、情報活用能力の育成にあたっても同様に「つながり」を基盤にすることで、地域の人材を活用し、プログラミング教育等で効果的な活動を展開することができた。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

- 1年生「笑顔いっぱい 友達いっぱい」  
・ 児童や教員、保育園の友だちとも様々な活動でつながり、笑顔、友達をいっぱいにする。
- 2年生「笑顔いっぱい 町と友達」  
・ 校区を探検し、「金子のきらり」をみつけ、自分も周りも笑顔になるために、できることを実行していく。
- 3年生「笑顔いっぱい じまんのふるさと」  
・ ふるさと金子の自慢を探すため、地域の伝統文化に触れ、故郷を好きになるため、できることを実行していく。
- 4年生「笑顔いっぱい！ 住みよい町に」  
・ 障害のある方や高齢者等、誰もが笑顔いっぱいの住みよい町になるためにできることを実行していく。
- 5年生「笑顔を守る 安全安心の町に」  
・ 災害から命と笑顔を守り、安心して生活できる町にするために、できることを実行していく。
- 6年生「未来につなげよう！金子笑顔の町」～生き方のカギを見つけよう～  
・ 人生の先輩の生き方や思いから、「生き方のカギ」を見付け、自分や金子小、金子の町が未来も笑顔であり続けるためにできることを考え、実践していく。